



たかはら しんいち
高原 伸一

沼田川の整備について



沼田川の整備について

問 川底の堆積土撤去や雑木の伐採について、今後の計画や取組を問う。

答 県が管理する河川であり、県は「河川内の堆積土等除去計画2021」に基づき、計画的に堆積土撤去等を実施してきた。計画が今年度までのため、現在、県において次期計画の策定に向けて作業が進められている。

災害後、一定の時間が経過していることから、一部区間で土砂が堆積し、雑木も繁り始めており、市民からも対策に関する要望を受けている。市民の生命や財産を守るための治水対策は重要と考えており、引き続き、本市として県に対し、堆積土や雑木の除去等について要望していく。

問 川の底を掘削して沼田川全体の流量を増やすことが、災害対策に有効とされているが、その際の片山頭首工の扱いについて問う。

答 河川断面の余裕高が確保されていない状況であり、本市としても「二級河川沼田川水系河川整備計画」に基づく片山頭首工付近の

河川改修を喫緊の課題と認識している。

事業化に向け、令和7年7月に実施した主要事業提案において、国及び県などに対し、片山頭首工付近の河川改修は、下流の本郷橋の架け替えと一体不可分での改修が必要であり、河川事業と道路事業を連携して取り組むよう強く要望した。

さらに、県が検討を進めている令和8年度からの次期『ひろしま川づくり実施計画』に対しても、当該箇所の河川改修を最重要課題として要望した。

引き続き、片山頭首工付近の河川改修事業が速やかに実施されるよう、事業主体である県をはじめとした関係機関へ積極的に働きかけていく。



片山頭首工
(本郷町本郷南)

常任委員会報告

(12月定例会付託議案審査及び行政説明案件について報告します)

総務財務委員会



付託議案審査（主なもの）

議113 三原市職員の給与に関する条例及び三原市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について

【概要】令和7年8月の国家公務員に対する人事院勧告に準じて本市の一般職の給与や特別職及び議員の期末手当の改定を行う。

【主な質疑】

問 今回の給与改定の対象者数について問う。

答 退職者を含む全職員で一般職員は約920名、会計年度任用職員は600名である。

問 新設された通勤距離区分が60km以上ある職員数について問う。

答 2名の一般職員が該当する。

【採決】採決の結果、議第113号他4件は、全員一致、原案どおり可決すべきものと決した。

厚生文教委員会



付託議案審査

議118 三原市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について

【概要】「こども誰でも通園制度」事業を令和8年4月1日から実施するにあたり、職員の配置基準や設備の基準等を定めるため、条例を制定する。

【主な質疑】

問 対象となる児童数と利用見込み、また、運用方法を問う。

答 生後6か月から3歳未満の児童で、保育施設に入所していない367人程度を対象とし、1日あたり5〜6人の利用を想定。余裕活用型での実施を予定している。

議119 三原市火災予防条例の一部改正について

【概要】林野火災注意報制度の新設等、所要の規定整備を行うため火災予防条例の一部を改正する。

問 注意報等の発令に関し、市民

への伝達はどのように行うのか。

【答】 警報は火災発生時と同様にメール、音声告知放送等の他、消防本部のホームページやSNS等広く周知を行うが、注意報は発令頻度の増加が見込まれるため、ホームページへの掲載にとどめる。

議120・121 三原市リージョンプラザ、三原市武道館、三原市宇根山家族旅行村の指定管理者の指定について

【概要】 本年度末で指定管理期間が満了する施設について、令和8年4月1日からの5年間、指定管理者を指定する。

【問】 あらたに宇根山家族旅行村の指定管理者となった「株式会社つくくる」の活動実態を問う。

【答】 テレビ番組を中心とした動画制作の他、キャンプ場運営も事業目的としている。代表者は、地域おこし協力隊に就任し運営に携わっている。

【反対討論】 議第118号について、職員配置などが国の最低基準どおりの内容であり、子どもの安全性確保が不十分であるため、反対する。

【採決】 採決の結果、議第118号は賛成多数をもって、残余3件については、全員一致で原案どお

り可決すべきものと決した。



宇根山家族旅行村

経済建設委員会



付託議案審査

議122 三原市すなみ海浜公園の指定管理者の指定について

【概要】 本年度末で期間が満了するすなみ海浜公園の指定管理者を、令和8年4月1日から5年間指定する。

【主な質疑】

【問】 指定管理料が令和8年度に大きく増加し、さらに5年間徐々に増加する計画だが、理由は何か。

【答】 人件費や物価高騰を考慮した結果であり、その後の5年間も、施設の管理・運営業務の人件費上昇を見込んだものである。

【問】 公募の応募者が1団体のみであったが、収支が安定していない

ことが原因ではないのか。また、そうした状況で、今後、適切な運営は図れるのか。

【答】 海浜公園という施設の特性や管理条件等の専門性が影響したと考える。この団体は現在の指定管理者であり、年間イベントを一層充実させるなど、運営の改善に取り組む意向を示しており、より良好な運営が期待できる。



すなみ海浜公園北ビーチ

【採決】 採決の結果、議第122号は、全員一致、原案どおり可決すべきものと決した。

請願審査

請願7第1号 来年度（令和8年度）の下水道使用料10%値上げの中止を求める請願書について

【概要】 請願の趣旨や疑問点等を確認するため、紹介議員に出席を求めて審査した。

【主な質疑】

【問】 令和4年の議会で十分な議論を経て、条例の改正案が可決されたはずだが、その後、新たに議論すべき事情の変更があったのか。

【答】 （紹介議員）県内他市町の多くが一般会計からの法定外繰入れをしており、本市も繰入れを行い、事業費の削減や利益剰余金の活用により、下水道使用料の値上げは回避できると判断した。

【問】 下水道を利用できない約半数の市民は、浄化槽を設置し維持管理費を負担している。一般会計からの繰入れは、浄化槽利用者に二重の負担を強いることになるのではないか。

【答】 （紹介議員）本市の下水道は約半数の世帯が利用しており、極めて公共性が高く、一般会計からの繰入れに市民の理解は得られると考える。

【反対討論】 請願の要旨である一般会計からの法定外繰入れは、下水道普及率を考慮すると市民間の公平性を保てないことや、物価高騰対策は、別途検討されていることから、反対する。

【賛成討論】 使用料の値上げは、物価高騰で苦しむ市民に追い打ちをかけるものである。また、法定外繰入れや事業費削減により値上げを回避することができることから、賛成する。

【採決】 採決の結果、請願7第1号は、賛成少数により不採択とすべきものと決した。